



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 エージーピー
 コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 日岡 裕之
 (氏名) 鈴木 悦朗
 TEL 03-3747-1631

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,051	0.5	139	△40.1	148	△34.9	98	5.4
2019年3月期第1四半期	3,034	7.4	233	38.8	228	34.8	93	△10.3

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 88百万円 (△1.2%) 2019年3月期第1四半期 89百万円 (△21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.06	—
2019年3月期第1四半期	6.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,141	9,085	69.1
2019年3月期	13,675	9,123	66.7

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 9,085百万円 2019年3月期 9,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	7.1	1,300	△4.2	1,250	△7.6	770	△12.3	55.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,950,000 株	2019年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,062 株	2019年3月期	2,062 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,947,938 株	2019年3月期1Q	13,947,943 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等により企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。

一方で海外経済は通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性など、依然として不透明な状況が続いております。

航空業界では、引き続き訪日旅客は昨年度を上回る水準で推移しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、動力事業は堅調に推移し増収した一方で、整備事業、付帯事業では減収となったものの、売上高合計は30億51百万円と前年同期比16百万円（0.5%）の増収となりました。

営業費用につきましては、原材料費や、減価償却費が減少したものの、適正な人員配置による労務費の増加により、29億11百万円と前年同期比1億10百万円（3.9%）の増加となりました。

以上により、営業利益は1億39百万円と前年同期比93百万円（40.1%）の減益、経常利益は、1億48百万円と前年同期比79百万円（34.9%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額が増加していたため、当期は法人税等調整額が減少し、98百万円と前年同期比5百万円（5.4%）の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

航空需要拡大と前期10月より中部空港にて事業開始したことに伴い電力供給機会が大幅に増加したことや、A350、787機材増加に伴い便単価が上昇したことにより、売上高は14億52百万円と前年同期比1億21百万円（9.1%）の増収となりました。

セグメント利益は、上記増収に加え、整備維持費の抑制等により、3億44百万円と前年同期比60百万円（21.4%）の増益となりました。

② 整備事業

関西空港において旅客手荷物搬送設備の更新工事に係わる別途契約業務の受注減や、中部空港において動力事業を展開したことに伴い、動力設備保守契約が減少したこと等により、売上高は11億70百万円と前年同期比43百万円（3.6%）の減収となりました。

セグメント利益は、上記減収に加え、労務費の増加等により、75百万円と前年同期比82百万円（52.1%）の減益となりました。

③ 付帯事業

新規事業の小売電気販売の増加や、ビジネスジェット駐機数の増加等により増収した一方で、前期の特需であった航空機用電源設備設置工事の受注減等により、売上高は4億28百万円と前年同期比61百万円（12.5%）の減収となりました。

セグメント損益は、減収による原材料費が減少した一方で、労務費の増加等により、20百万円の損失となり、前年同期比25百万円の減益となりました。

	売上高			セグメント利益又は損失 (△)		
	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年同期比 (%)	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年同期比 (%)
動力事業	1,330	1,452	109.1	283	344	121.4
整備事業	1,214	1,170	96.4	158	75	47.9
付帯事業	489	428	87.5	4	△20	—
合計	3,034	3,051	100.5	446	399	89.5
全社費用*				213	259	122.0
営業利益				233	139	59.9

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比4億11百万円（5.9%）減少の65億91百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が8億46百万円減少し、現金及び預金が2億87百万円、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が1億75百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比1億23百万円（1.8%）減少の65億49百万円となりました。これは、主に有形固定資産が66百万円、投資その他の資産が53百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は前期末比5億34百万円（3.9%）減少の131億41百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比4億97百万円（10.9%）減少の40億55百万円となりました。これは、営業未払金が1億55百万円、未払法人税等が1億76百万円、未払費用が1億15百万円、流動負債・固定負債を合算した借入金が85百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比37百万円（0.4%）減少の90億85百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が27百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期におきましては、ほぼ計画通りに推移しておりますので、2019年5月13日に発表しました通期業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,424,772	3,711,990
受取手形及び営業未収入金	2,462,021	1,616,009
電子記録債権	—	2,970
商品及び製品	91,088	126,426
仕掛品	55,946	228,481
原材料及び貯蔵品	753,034	720,790
前払費用	173,741	163,010
その他	42,309	21,900
貸倒引当金	△89	△49
流動資産合計	7,002,824	6,591,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,794,877	10,796,087
減価償却累計額	△8,764,714	△8,821,374
建物及び構築物（純額）	2,030,163	1,974,713
機械装置及び運搬具	10,196,763	10,202,395
減価償却累計額	△7,610,661	△7,717,390
機械装置及び運搬具（純額）	2,586,101	2,485,004
土地	110,608	110,608
リース資産	94,096	81,911
減価償却累計額	△79,829	△73,162
リース資産（純額）	14,267	8,748
建設仮勘定	247,696	347,886
その他	575,261	575,207
減価償却累計額	△510,442	△514,745
その他（純額）	64,818	60,462
有形固定資産合計	5,053,655	4,987,424
無形固定資産		
特許権	6,068	5,780
ソフトウェア	58,673	53,651
ソフトウェア仮勘定	14,050	15,520
その他	10,937	10,873
無形固定資産合計	89,729	85,825
投資その他の資産		
投資有価証券	283,548	265,867
繰延税金資産	793,625	752,729
敷金及び保証金	197,163	200,317
長期前払費用	20,063	18,703
退職給付に係る資産	232,858	236,521
その他	2,145	2,145
投資その他の資産合計	1,529,404	1,476,285
固定資産合計	6,672,789	6,549,535
資産合計	13,675,614	13,141,064

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	792,309	636,943
1年内返済予定の長期借入金	250,364	165,364
リース債務	12,926	7,831
未払法人税等	191,673	15,492
未払消費税等	64,419	68,195
未払金	158,971	87,011
未払費用	611,254	495,757
その他	44,730	143,199
流動負債合計	2,126,648	1,619,795
固定負債		
長期借入金	292,390	292,390
リース債務	2,655	1,489
製品保証引当金	6,697	5,635
退職給付に係る負債	2,046,297	2,057,875
資産除去債務	77,763	77,959
その他	152	152
固定負債合計	2,425,957	2,435,501
負債合計	4,552,605	4,055,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	6,985,096	6,957,778
自己株式	△773	△773
株主資本合計	9,137,772	9,110,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,283	43,630
為替換算調整勘定	755	1,135
退職給付に係る調整累計額	△73,803	△69,454
その他の包括利益累計額合計	△14,764	△24,688
純資産合計	9,123,008	9,085,766
負債純資産合計	13,675,614	13,141,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,034,594	3,051,263
売上原価	2,559,476	2,580,539
売上総利益	475,118	470,724
販売費及び一般管理費	241,799	330,929
営業利益	233,318	139,794
営業外収益		
受取配当金	2,935	3,130
保険事務手数料	244	246
持分法による投資利益	—	3,439
受取補償金	—	3,700
その他	1,500	11
営業外収益合計	4,680	10,528
営業外費用		
支払利息	2,190	991
持分法による投資損失	6,787	—
その他	787	847
営業外費用合計	9,765	1,839
経常利益	228,234	148,483
特別損失		
固定資産除却損	8,624	0
その他	328	—
特別損失合計	8,953	0
税金等調整前四半期純利益	219,281	148,483
法人税、住民税及び事業税	7,268	4,582
法人税等調整額	118,866	45,442
法人税等合計	126,135	50,025
四半期純利益	93,146	98,458
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△243	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,389	98,458

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	93,146	98,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,142	△14,653
為替換算調整勘定	△2,200	380
退職給付に係る調整額	6,791	4,349
その他の包括利益合計	△3,551	△9,923
四半期包括利益	89,594	88,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,838	88,534
非支配株主に係る四半期包括利益	△243	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	1,330,976	1,214,192	489,425	3,034,594
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,201	24	45,574	52,800
計	1,338,178	1,214,216	535,000	3,087,394
セグメント利益	283,770	158,453	4,163	446,387

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	446,387
全社費用(注)	△213,068
四半期連結損益計算書の営業利益	233,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	1,452,602	1,170,429	428,231	3,051,263
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	354	75	60,041	60,471
計	1,452,956	1,170,505	488,272	3,111,735
セグメント利益又は損失(△)	344,605	75,968	△20,927	399,645

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	399,645
全社費用(注)	△259,851
四半期連結損益計算書の営業利益	139,794

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。